

# 既存の地域図書館が始める医療サービスのかたち

## －大田区立蒲田駅前図書館の取り組み－

井上 彩

大田区立蒲田駅前図書館

### 【背景】

大田区は、大田区基本構想で区の将来像として掲げた「地域力が区民の暮らしを支え、未来へ躍動する国際都市 おおた」を実現するため、平成 21 年に区の基本計画である「おおた未来プラン 10 年」を策定した。同計画では、「生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち」が基本目標の 1 つに掲げられており、区民の自主的な健康づくり活動を支援する様々な施策を推進している。

多くの公共図書館が課題解決型図書館へとシフトしている昨今、大田区立図書館としても、地域の課題解決のためにより具体的なサービスを行っていく必要がある。そこで、平成 28 年より区内にある 16 の既存図書館のうち 3 館に、それぞれ「子育て」「ビジネス」「医療・介護」に特化した特設コーナーを設置し、利用者の課題解決へ向けた取り組みを始めた。その中の「医療・介護」を受け持つのが、大田区立蒲田駅前図書館である。

上記の「区民の自主的な健康づくり活動」を公共図書館としての当館が支援するにあたって行ってきた準備内容、現在までに取り組んだ事業を発表するとともに、その過程で見えてきた問題点や今後の課題について考察する。

### 【事業内容】

- ① 「医療・介護情報コーナー」の設置
- ② レファレンスなど、情報提供支援の充実
- ③ 健康への関心を高めるイベントの実施
- ④ 行政をはじめとする地域各機関や団体との連携

### 【今後の展望】

- ① 今後継続的な地域連携を行うための連携強化
- ② 「医療・介護情報コーナー」及び同サービス認知度の向上へ向けた広報活動
- ③ 担当スタッフの育成
- ④ サービス評価の実施